ソニック・ザ・ヘッジホッグ

タイム・ボックスでエッグマンをやっつけろ

森本サンゴ

原案　寺田憲史　

前号のお話　エッグマンの秘密基地にとらえられ大ピンチのニッキとお父さんのポーリー。でも、そこにソニックがあらわれ、タイム・ボックスを使って、エッグマンを大ぎゃくてん!!

このタイム・ボックスは、時間を自由にあやつれるのさ。

な、何じゃと!?

ソニックの弟分チャーミー・ビー

ああっ、エッグマンの首がとれた!?
ゴツッ

よくもやったな、ソニック。
ヒヒヒ

これでもくらえっ！
うわぁ、なんだこいつ!?
クワッ！

BAGOOON!!
あぶないっ！

よくよけたな、ソニック。
バケモノめーっ！
ぐるん
ZOOON

今度こそ、この超合金の歯でおまえの頭をかみくだいてやるっ！

ギイイイイン…
そうはいくか、エッグマン！

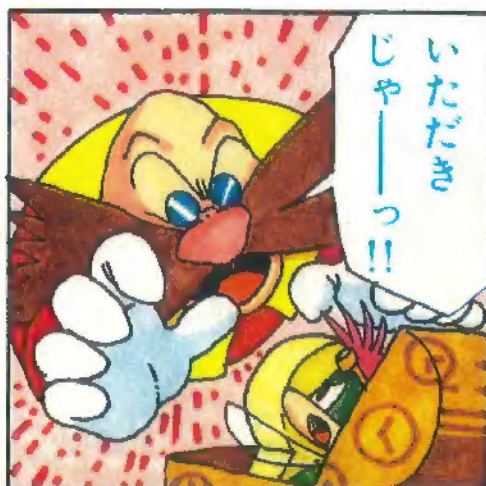
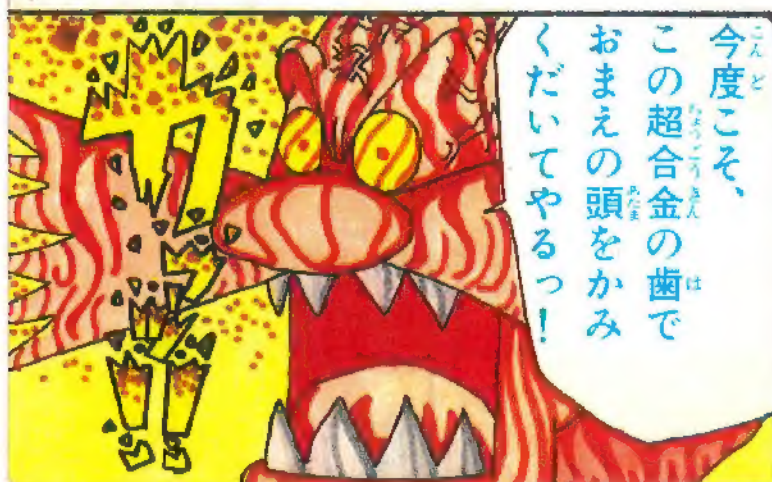
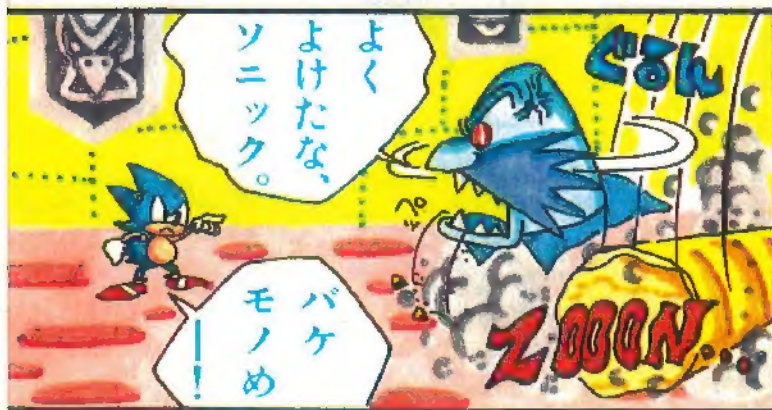
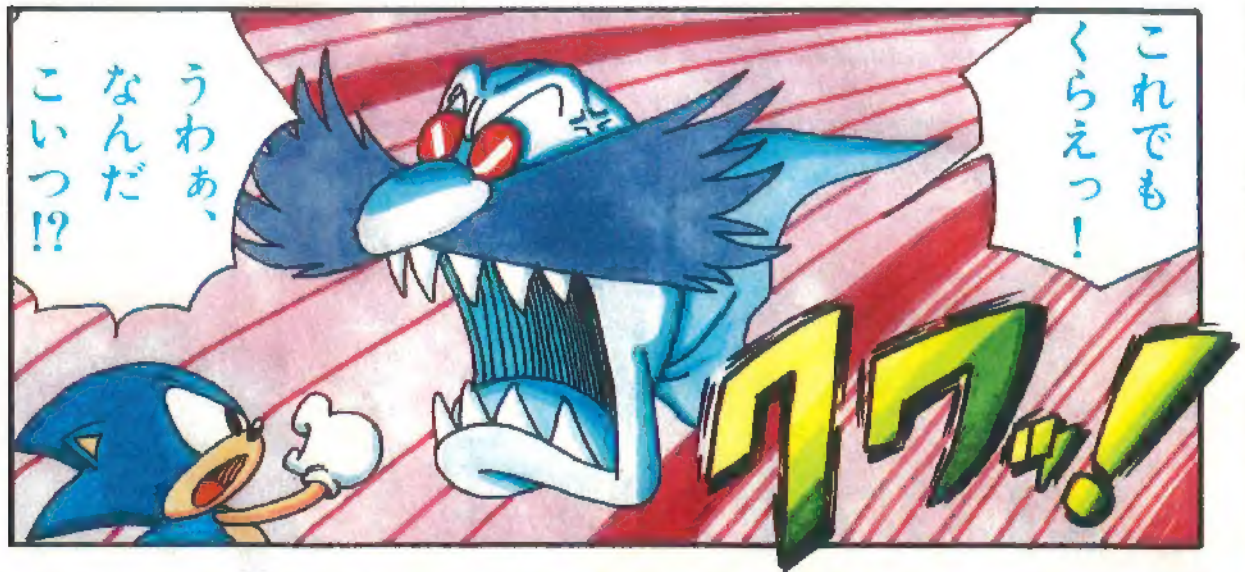
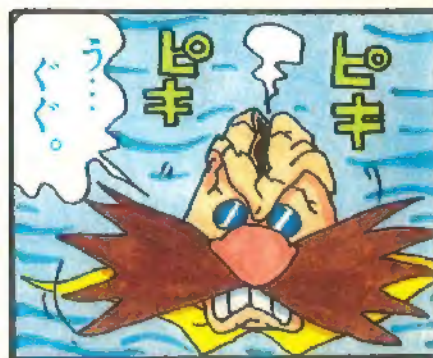
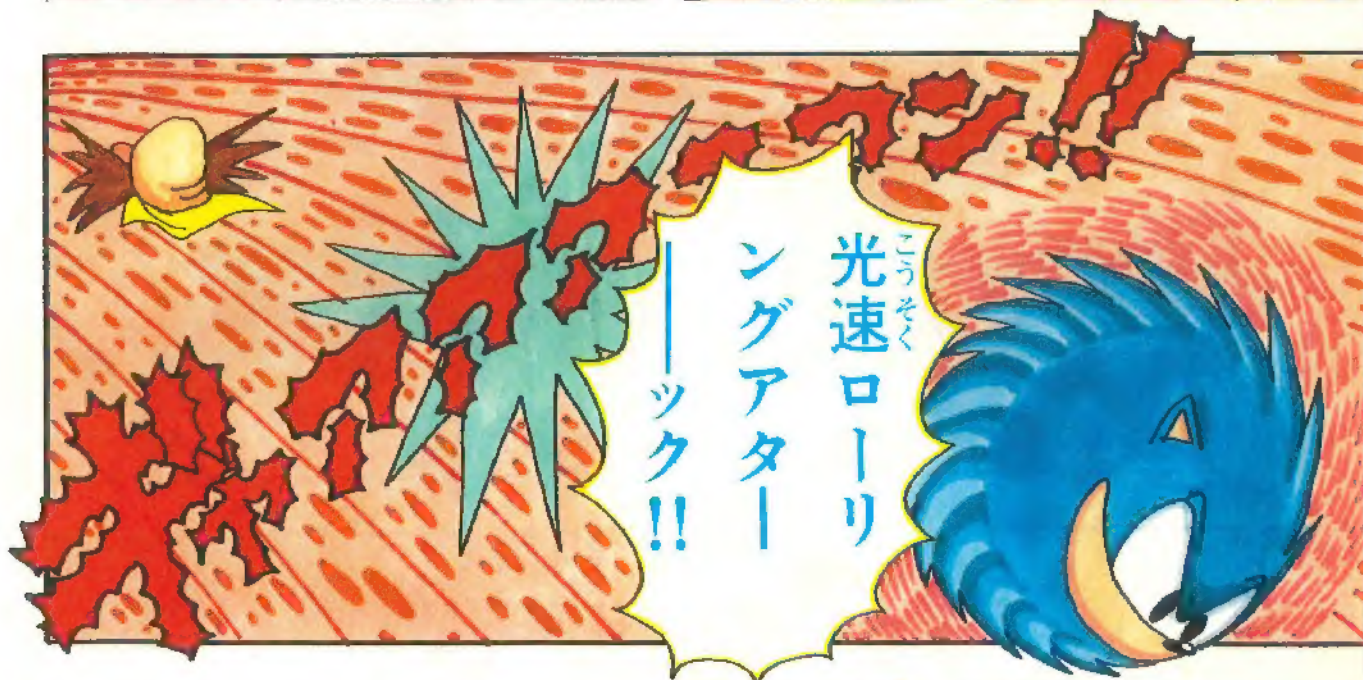
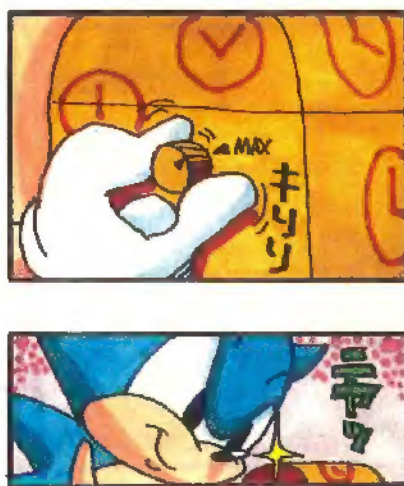
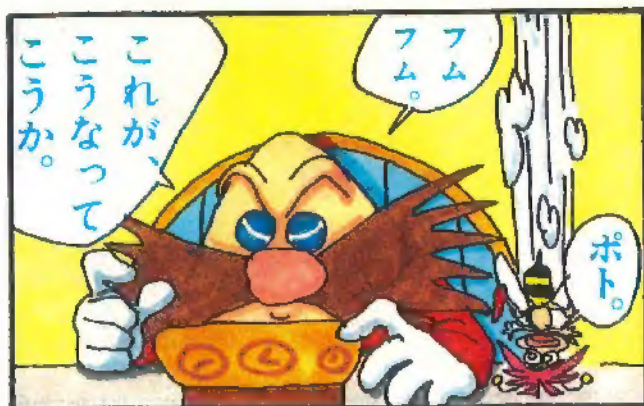
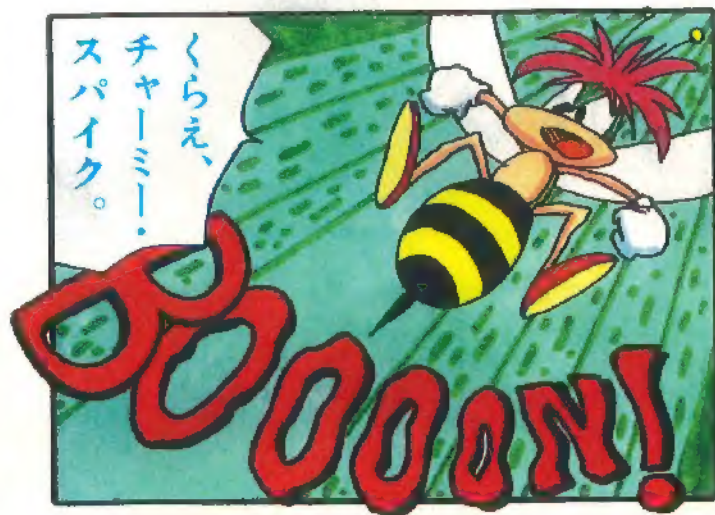
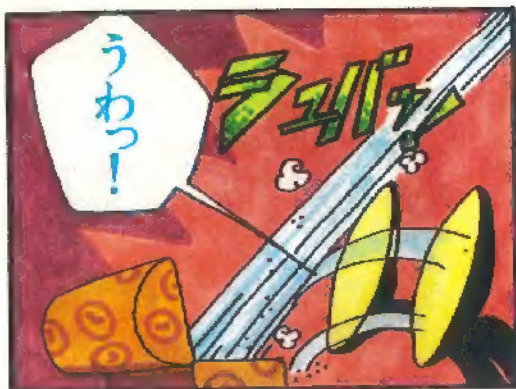
ギュルルルルン!!
これならどうだ――っ！

ギャワワワーン!!
光速ローリングアター――ック!!

ピキ
ピキ
う…ぐぐ。

DOOON!

ガラ
ガラ
ふ――っ。エッグマンがロボットだとは知らなかったぜ。

だれがロボットじゃ？わしならここにおるぞ、ソニックよ。

※ダミー＝もけいなどの、にせもののこと

とくべつに、オレのひみつを教えるぜ!!

おれ、ソニックとニッキのかんけいは、ドクター・エッグマンだけでなく読者のみんなも知りたいことだろう。ニッキがいなくなると、おれ、ソニックがあらわれ、おれが消えると、ニッキがあらわれる。ニッキがソニックに変身すると考えている人も多いと思うが、ちょっとちがう。おれ、ソニックは、ニッキが16才になったときの未来のすがたなんだ。そう、おれは未来からやってきたんだよ。

どうして、そんなことができるかって? そのひみつは、光速ローリングアタックにあるのだ。光速をこえると、おれたちは、過去や未来にワープできるのさ。

●赤ちゃんになっちゃったDrエッグマン。でも、ずっとこのまま赤ちゃんのワケないよね。

11月号につづく